



**令和元年度
公共施設の未来を考える「市民討議会」
開催報告書**



令和元年 10 月

湯沢市

目次

主催者あいさつ	1
概要	2
参加者内訳	3
スケジュール	4
市民討議会 1 日目	
○事前学習、グループワーク、発表の様子	5、6
○グループワークの結果	7～9
市民討議会 2 日目	
○振り返りの様子	10
○情報提供	11～13
○グループ討議の様子	14
○発表の様子、討議の結果	15～20
○討議の結果<まとめ>	21、22
講評	23、24
公共施設再編計画（中間案）全体に対する意見	25

令和元年度公共施設の未来を考える「市民討議会」に御参加の皆様には、御多用のところ、昨年に引き続き御参加いただき、誠にありがとうございました。

本市の公共施設を取り巻く環境は大きく変化しており、人口減少や少子高齢化、施設の老朽化、財政状況などの諸課題に対応するため、現在、個々の施設の方向性を具体的に示す「公共施設再編計画」の策定に取り組んでおります。

施設の再編に当たっては、やみくもに財政的な観点だけで数を減らすのではなく、まちづくりの観点から公共施設の役割を確認し、機能・サービスの在り方や、有効に使いきる方策など、公共施設の最適化に向けて、市民の皆様と共に考え、共に取組を進めることが、将来を担う子どもたちに健全な状態で引き継ぐことにつながると考えております。

昨年度に引き続き、新たな市民参加手法としてこの市民討議会を開催することとし、参加者の皆様には、本年3月に公表した「公共施設再編計画（中間案）」を基に、1日目は討議の事前学習やテーマ（施設）の選択、2日目は選択したテーマについての討議を行っていただきました。身近な施設から利用したことのない施設まで、幅広く話し合っていたいただき、普段からお気づきになっていたことや、お感じになったことなどを積極的に御発言いただきました。

このたび、市民討議会の内容を今後の計画策定の参考とさせていただくため、開催報告書として取りまとめました。

市民討議会は、昨年から2回目の開催となりますが、参加者の皆様の御協力により円滑に進めることができました。今後とも公共施設を始めとする市の諸課題に対して、様々な機会に貴重な御意見や御提言をいただきますようお願いいたします。

令和元年 10月

湯沢市長 鈴木俊夫

【背景と目的】

「市民討議会」は、個人の社会参画意識の高いドイツで行われている住民自治の手法を日本風にアレンジしたもので、市民の積極的な自治参加を促す新たな手法です。

無作為に抽出した市民 1,200 人に案内し、参加の御意向を示していただいた方から 30 人を選出して開催します。無作為抽出、有償性といった特徴から、これまで行政に声を届ける機会の少なかったサイレントマジョリティと言われる一般市民の参加を促す方法として効果が期待されます。

公共施設再編計画の策定に当たっては、施設を利用する方、利用しない方、様々な立場や世代、地域の方々から御意見を伺うことが重要と考え、より広く市民の皆様から御意見を伺うための機会として「市民討議会」を開催することとしました。

なお、今回は昨年度開催時に選出した 30 人に対し参加をお願いし、同意をいただいた方 15 人により開催しました。

【市民討議会の特徴】

① 参加者の無作為抽出

住民基本台帳に基づきランダムに抽出した 15 歳以上（高校生以上）1,200 人の方に御案内し、参加に同意していただいた方から 30 人を選出します。

② 参加者の有償性

報酬（日額 3,000 円）を支給します。

③ 専門家等からの情報提供

スムーズかつ良質な話し合いを行っていただくため、専門家や市担当者による情報提供を行います。

④ 参加者による討議

グループで討議（話し合い）を行い、意見をまとめていただきます。

⑤ 報告書の公表

討議会の結果は報告書として一般公開し、計画づくりの参考とさせていただきます。

【参加者内訳】

参加者の決定後、御都合が悪くなった方がいたため、最終的に1日目は15人、2日目は14人の方に御参加いただきました。

(単位：人)

■1日目

地区	男性	女性	計
湯沢	3	5	8
三関	1		1
三梨	1		1
川連	1		1
秋ノ宮	2		2
皆瀬	2		2
計	10	5	15

年代	男性	女性	計
15～19歳	1	1	2
25～29歳		1	1
35～39歳	1		1
50～54歳	1		1
55～59歳	2		2
60～64歳	1		1
65～69歳	2	2	4
70～74歳		1	1
75歳以上	2		2
計	10	5	15

■2日目

地区	男性	女性	計
湯沢	3	4	7
三関	1		1
三梨	1		1
川連	1		1
秋ノ宮	2		2
皆瀬	2		2
計	10	4	14

年代	男性	女性	計
15～19歳	1	1	2
25～29歳		1	1
35～39歳	1		1
50～54歳	1		1
55～59歳	2		2
60～64歳	1		1
65～69歳	2	1	3
70～74歳		1	1
75歳以上	2		2
計	10	4	14

スケジュール

令和元年9月1日(日) 1日目

時間 9:00~12:00

場所 湯沢市役所本庁舎2階 会議室 25・26

9:00~10:10	開会 あいさつ(総務部長) 説明 ① 公共施設を取り巻く課題(企画課) ② 昨年度の市民討議会の意見概要【集会施設、学校施設】(企画課) ③ 湯沢市公共施設再編計画(中間案)の概要(企画課) ④ 湯沢市学校施設再編計画(素案)の概要(教育総務課)
10:10~10:20	休憩
10:20~11:20	グループワーク(3班×5名) ① 2日目の討議テーマを選択 ※集会施設・学校施設は除く(H30 済) ② 選択したテーマに関して「質問」や「必要な資料」をまとめる
11:20~11:45	発表 「選択したテーマ」「質問」「必要な資料」を発表 ※質問に対する回答、資料は後日全員に郵送
11:45~12:00	質疑応答 事務連絡 閉会

令和元年9月14日(土) 2日目

時間 9:30~12:00

場所 湯沢市役所本庁舎1階 市民ロビー

9:30~9:45	開会 あいさつ(市長) 前回の振り返り
9:45~9:55	情報提供「議論のポイント」(公共施設アドバイザー 川嶋幸夫 氏)
9:55~10:35	グループ討議「〇〇施設(テーマ1)の計画案をどう考えるか」
10:35~10:40	休憩
10:40~11:20	グループ討議「〇〇施設(テーマ2)の計画案をどう考えるか」
11:20~11:45	発表
11:45~11:50	公共施設アドバイザー講評
11:50~12:00	あいさつ(総務部長) 事務連絡 閉会

市民討議会1日目 令和元年9月1日(日)

- 開会
- あいさつ(総務部長)



●説明

- ① 公共施設を取り巻く課題(企画課)
- ② 昨年度の市民討議会の意見概要【集会施設、学校施設】(企画課)
- ③ 湯沢市公共施設再編計画(中間案)の概要(企画課)



- ④ 湯沢市学校施設再編計画(素案)の概要(教育総務課)



ーグループワークー

市職員が流れを説明



進行役と発表者を決める
(補佐役・書記役は市職員)



2日目に討議するテーマを2つ選び、
選択したテーマに関して「質問」や「討議に必要な資料」を付箋に記入



ー発表ー

1班



2班



3班

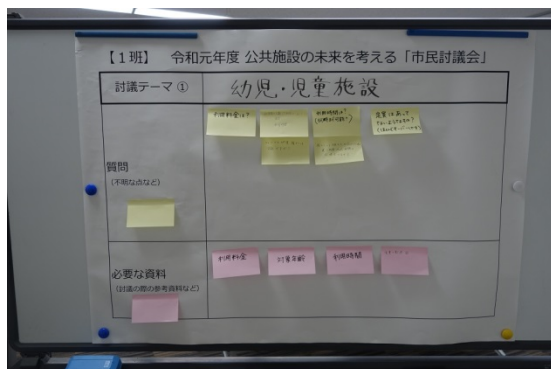


【グループワークの結果】

参加者の皆様からの質問、討議に必要な資料は次のとおりです。

※質問に対する回答及び資料は、2日目の討議までに郵送で全員に送付しました。

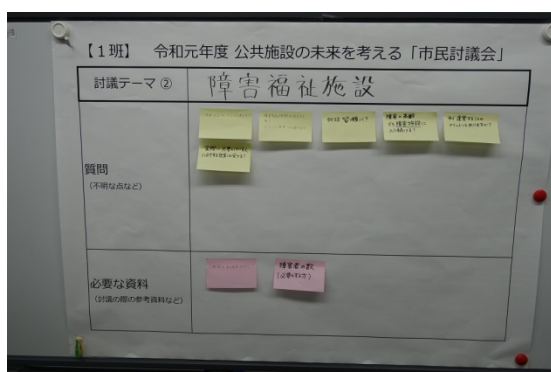
【1班】テーマ①「放課後児童クラブ」



質問
利用料金
今利用している人数
年齢
利用時間（何時まで可能か）
幼児の預かりは可能か
定員をほとんどオーバーしているが、定員とはあってないようなものなのか

必要な資料
利用料金
対象年齢
利用時間
施設の配置図（民間施設、キッズステーションを含む）

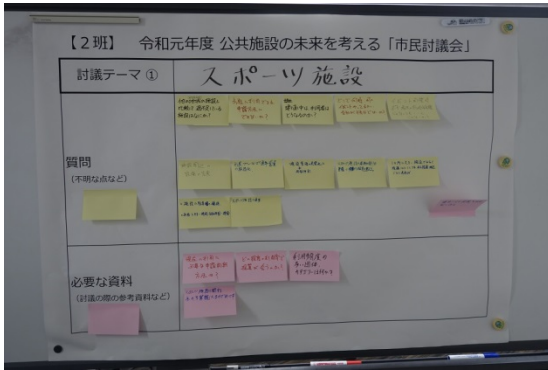
【1班】テーマ②「障害福祉施設」



質問
どういう方が入所していて、何をする施設なのか
定員を上回った場合の対応
実際に必要としている人に対する定員は合っているのか
なぜ中心部ではなく皆瀬地域にあるのか
障がい者で高齢者の場合でも入り続けられるのか（障害福祉施設なのか介護施設なのか）
市で運営することのメリットはあるか

必要な資料
施設のある場所
障がい者の数（施設入所を必要とする方）

【2班】テーマ①「スポーツ施設」

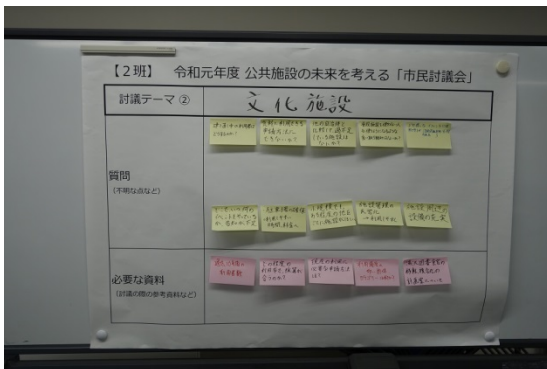


必要な資料
施設の大体の予算額
どの程度の利用率で採算が合うのか
現在の利用に必要な申請方法は
利用頻度の多い団体（カテゴリー）

質問
建て直し中、利用者はどうするのか
気軽に利用できる申請方法にできないか
他の自治体と比較して過不足している施設は何か
イベントの開催は、必ず総合体育館でなくていいのでは
いつ、どこで何をやっているか告知が不十分でないか
駐車場の確保策は
市民プールを通年営業できないか
1箇所に大きい施設ではなく、小規模でもある程度の地区ごとに施設が必要ではないか

その他ご意見	
利用しやすい時間（休日利用）・料金へ	施設管理の民営化→利用しやすく
施設周辺の設備の充実	周辺の整備・小規模の公園等を整える

【2班】テーマ②「文化施設」

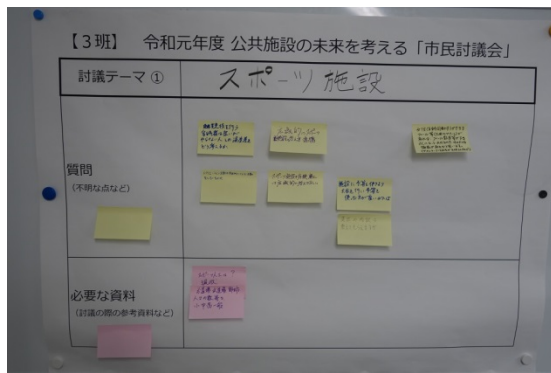


必要な資料
過去 10 年間の利用者数
どの程度の利用率で採算が合うのか
現在の利用に必要な申請方法は
利用頻度の多い団体（カテゴリー）

質問
建て直し中、利用者はどうするのか
気軽に利用できる申請方法にできないか
他の自治体と比較して過不足している施設は何か
普段施設を使わない人も使うようになるような良い取り組みはないか
どのようなイベントに使用できるか（目的別の利用可・不可の別の表示）
いつ、どこで何をやっているか告知が不十分でないか
駐車場の確保策は
1箇所に大きい施設ではなく、小規模でもある程度の地区ごとに施設が必要ではないか

その他ご意見		
利用しやすい時間・料金へ	施設管理の民営化→利用しやすく	施設周辺の設備の充実

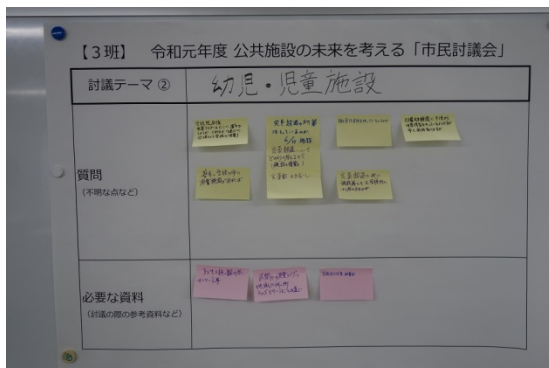
【3班】テーマ①「スポーツ施設」



必要な資料
スポーツ人口 (弓道場、武道場、野球等)

質問
競技を行う当事者はよいが、やらない人との温度差をどう考えるか
広域的な連携についての考え方は
存続・廃止は広域的に考えるべきではないか
レクリエーション活動は具体的にどんな活動をしているか
施設に予算を使うより大会を行うほうに使ったほうが良いのでは
支出の内訳
女性（年齢問わず）が利用できるプール等（大曲のペアーレ）があれば、プール散歩等ができ水にも触れることができるので、そのような施設がほしい（アスレチックは子供向け？）

【3班】テーマ②「放課後児童クラブ」



質問
学校統合後の配置（稲川地域など）
基本は学校の中にあれば良いのではないかと考えているのか（施設の増築が必要でないか）
定員超過の対策はとっているのか、どのように考えているのか（施設の増築が必要でないか）
定員数の見直し
職員は資格を持っている人なのか
民間施設を利用して実施している児童クラブは（双葉幼稚園）

必要な資料
施設の配置図（民間施設、キッズステーションを含む）
子供を持つ親の考え、アンケート等
民間の児童クラブは地域に何か所あるのか
キッズステーションとの違い
各施設の写真

- 質疑応答
- 事務連絡
- 閉会

- 開会
- あいさつ(市長)



- 前回(1日目)の振り返り(企画課)



● 情報提供「議論のポイント」 公共施設アドバイザー 川嶋幸夫 氏



1. 文化会館

●文化会館の役割と現状

役割	現状
①市民の芸術・文化活動の場や機会を提供すること	多く利用され、機能している
②市民に質の高い芸術・文化に触れる機会を提供すること	ほとんど実績がない 力を入れていかなくてはいけない
③市民の新しい芸術・文化を創造する活動を支援すること	⇒ 今後の課題

●管理運営費

- ・職員5人の人件費を含む管理運営費は約 80 百万円
- ・利用者負担額は約 14 百万円
- ⇒ 管理運営費のほとんどが市民の税金で賄われている



湯沢市のシンボリック施設である文化会館の役割を果たし、事業の企画立案機能を強化するために、管理運営はどうしたら良いか

受益者負担をどのように考えるか

2. スポーツ施設

●スポーツ施設の役割と現状

役割	現状
①市民の健康づくり、体力づくりなど 気軽に運動する場や機会を提供すること	個人利用を除き、ほとんどは競技団体、 学校が練習や大会等で使用している
②スポーツする人の競技力を高める機会を 提供すること	競技力を高めるための機会、市民がス ポーツを始めるきっかけづくりの取組 等の提供はほとんど実施されていない
③日ごろ運動をしない人に、運動をする きっかけづくりを提供すること	

⇒ 役割は果たせているか

有効かつ効率的に管理運営されているか

●運動機能を備えた施設

市内には、体育館等のスポーツ施設 15 施設のほか、小中学校体育館の地域開放、
地区センターの多目的スポーツ等運動ができるスペースが設置されている

⇒ 一部の施設を除いて十分に使いきれていない

●機能分担と役割の明確化

- ・全国大会や県大会、全市的な大会ができる施設（役割①+②+③）

⇒ スポーツ振興の拠点として維持していく必要

- ・市民の活動の場としての施設（役割①を中心に、必要に応じて②や③）

⇒ 競技力を高めるための教室やスポーツを始めるきっかけづくりの場を提供

●管理運営費

- ・体育館は市の直営で管理運営している
- ・人件費を含む管理運営費の総額は約 55 百万円
- ・利用者負担額は約 4 百万円

⇒ 管理運営費のほとんどが市民の税金で賄われている



さまざまな教室や講座を開いている民間のノウハウを取り入れる

あるいはスポーツ団体、競技団体の力を借りるなど、今後の管理運営を考えていく

使用しない市民との均衡の観点から受益者負担をどのように考えるか

3. 福祉・子育て支援施設

●高齢者施設

介護保険事業で使用している施設

⇒ 介護報酬と自己負担金での経営が可能
行政の役割を明確化したうえで、民間による自主的な経営が望ましい

●障害者施設

障害を持つ人が、地域で自立した生活が送れるようにするための支援施設

⇒ 障害者総合支援法による事業収入を得て経営が可能
行政の役割を明確化したうえで、民間による自主的な経営が望ましい
(行政は指揮監督責任に力を入れ、施設の管理運営については民間事業者が行う)

●子育て支援施設（放課後児童クラブ）

子どもの数が減少しても、共働き世代が増加しているため、子育て支援の一環として小学校ごとに設置が必要

⇒ 子どもの安全性や利便性を考慮すると、学校内への配置が望ましい
指導員を安定的に確保するため、地域力や民間活力を活用した運営が望ましい

ーグループ討議ー

市職員が流れを説明



進行役と発表者を決める
(補佐役・書記役は市職員)



選択したテーマの計画案（市の方針）についてどう考えるか（肯定か否定か）を選択
肯定の場合は「さらに改善する点や感想」を、否定の場合は「具体的な対案」を付箋に記入



【1班】テーマ①「放課後児童クラブ」



この計画案について班の考えは肯定である。なぜかという、この計画案では、子どもたちの利便性、安全性を考慮して学校内への配置を原則とすると書いてある。やはり子どもたちのことを考えると、安全で安心な学校を放課後にも利用できた方がいいというような意見であった。また、放課後、校舎を利用する際は、日中は学校で、放課後は児童クラブという形ではなく、しっかりと

した児童施設として場所を設けるほうが、トラブル等も起こらずに進めることができるのではないかと思った。

また、現在は保育料としては徴収しておらず、おやつなどの子どもたちが利用するお金だけを徴収しているとのことだったが、親世代にとっては負担が少ないほうがいいと思うので、現行どおり保育料としてはもらわず、おやつ等の料金を支払うという方向が望ましいと思う。その点に関しては、市の方針に対して否定的な意見である。

利用時間については、18時半までとなっているが、働く親が時間に縛られないようにしてほしい。柔軟に対応できるほうが時間を気にせずに子どものために一生懸命働ける親が増えるのではないかという意見である。

また、現在ある児童クラブの全てが体育館を利用できるのかは分からないが、子どもたちが放課後、体を動かせるような機会や場所があった方がいいので、そういった面で工夫してほしい。

討議テーマ①	「放課後児童クラブ」の計画案をどう考えるか	
計画案（市の方針）についてどう考えるか	肯定	否定
<p data-bbox="163 1589 515 1672"><肯定の場合> さらに改善する点や感想</p> <p data-bbox="231 1782 447 1865"><否定の場合> 具体的な対案</p>	<p data-bbox="594 1502 808 1662">利用料金は負担が少ない方がいい</p> <p data-bbox="594 1683 808 1803">出来るだけ校舎内へ配置</p> <p data-bbox="594 1825 808 1945">学校の施設を利用したい</p>	<p data-bbox="908 1502 1135 1622">現行のママが良い</p> <p data-bbox="908 1662 1135 1825">延長して欲しい (時間) 19:00~19:30</p>

【1班】テーマ②「障害福祉施設」

このテーマでは主に皆瀬更生園についての話し合いとなったが、皆瀬更生園は行ったことがなく現地も把握していないので、その上での話になってしまうが、計画案については肯定である。

障害者施設を民間に移すという計画であったが、そのほうが民間での競争もあって、サービス向上につながるため、利用者の方々には良い点がたくさんあると思うからである。さらに、民間に受け渡す際には、もっと市民の方々と触れ合えるような機会を設けて交流の場を増やしてほしいという要望を付け加えたいと思う。

一つ否定の意見として、廃校になったところを利用できないかという意見があった。これは、今後廃校舎が増えると思うが、建物自体は立派で、立地的にも地域の中にあり、交流の機会なども設けやすいような場所に立地されているため、今後、市内に福祉施設を増やす際には廃校を改修できたら良いのではないかという意見である。廃校舎については、積極的に譲渡するような方向でやっていければ良いと思う。

討議テーマ②	「障害福祉施設」の計画案をどう考えるか	
計画案（市の方針）についてどう考えるか	肯定	否定
<p data-bbox="163 1105 514 1188"><肯定の場合> さらに改善する点や感想</p> <p data-bbox="228 1301 449 1384"><否定の場合> 具体的な対案</p>	<div data-bbox="591 1052 807 1177" style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">民間に移し、サービス向上</div> <div data-bbox="591 1238 807 1408" style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 5px;">一般市民との交流の場を増やして欲しい</div>	<div data-bbox="984 1122 1200 1345" style="border: 1px solid black; background-color: pink; padding: 5px; text-align: center;">廃校になったところを改修して利用できないか</div>

【2班】テーマ①「スポーツ施設」



総合体育館の利用率を上げるということを第1課題として、利用率が上がれば全て上がってくるということで、それではどうすればいいか。市の方針を分かりやすく皆さんに伝えるということだと思ふ。市民の健康づくり、レクリエーション、余暇の活用のために広く使っていただきたいというのが目的である。現在は、うまく市民の皆さんには伝わ

っていないのではないか。こういう取組を分かりやすく、具体的な例を挙げて説明していただければという意見が出た。

赤字だから縮小するとかそういう問題ではなく、具体的な目標、例えば今年度は利用者数10万人にするとか、そういう具体的な例を挙げて、競技団体を誘致しようとか、バドミントンの大会をやって観客を集めるとか、そういう取組ができていないので、ぜひ検討してもらいたい。そういったことを踏まえながら、市民の声を吸い上げる体制、御意見箱など、お年寄りもたくさんいるのでインターネットだけでなく、気軽に意見を出せる体制を作ってほしい。

また、日ごろの運動不足を解消するきっかけづくりのため、運動教室にインストラクターなど、有料になってもいいので専門的知識のある人や、競技を引退した人に来てもらい、指導してもらえば良い。そして、駐車場の確保は必要だと思う。

討議テーマ①	「スポーツ施設」の計画案をどう考えるか	
計画案（市の方針）についてどう考えるか	肯定	否定
<p data-bbox="163 1502 514 1589"><肯定の場合> さらに改善する点や感想</p> <p data-bbox="231 1699 446 1786"><否定の場合> 具体的な対案</p>	<p data-bbox="560 1312 772 1437">利用率を上げる取組が必要</p> <p data-bbox="560 1454 817 1618">利用率 目標金額（収益） を具体的に決める</p> <p data-bbox="560 1640 817 1862">利用者を指導する インストラクター を育成する必要がある</p>	<p data-bbox="843 1312 1100 1437">市の方針をよりわかりやすく</p> <p data-bbox="843 1454 1123 1574">市の方針が見えない 示して欲しい</p> <p data-bbox="843 1618 1105 1742">市民の声を吸い上げる体制を作る</p> <p data-bbox="843 1771 1150 1950">日頃の運動不足解消の きっかけづくりとなる 運動教室を開く</p> <p data-bbox="1138 1312 1350 1437">施設利用時の 駐車場の確保</p>

【2班】テーマ②「文化施設」



市の方針については肯定の意見だが、改善点として何点か意見があった。

利用者数を増やさなければならないが、それを解決するためには、利用者数の分析をより詳細に行って、より良いイベントを推進していかなければならないのではないかと。また、地元の作家の作品を持ち回りで展示する、イベントごとの世代等

の分析をして、より人の集まるイベントを開催する、施設周りの整備や複合化をして、利用者が使いやすくなるような施設を造る、効果的な広報により集客するなど、利用者数を増やす取組が必要だと思う。

討議テーマ②	「文化施設」の計画案をどう考えるか	
計画案（市の方針）についてどう考えるか	肯定	否定
<p data-bbox="163 1057 515 1144"><肯定の場合> さらに改善する点や感想</p> <p data-bbox="228 1253 450 1340"><否定の場合> 具体的な対案</p>	<p data-bbox="568 908 783 1022">利用者数を増やす</p> <p data-bbox="568 1039 819 1153">利用者数の分析をより詳細に行う</p> <p data-bbox="568 1183 858 1297">効率的な広告方法の確立</p> <p data-bbox="568 1327 855 1485">何をするのかをアプリやインターネットでアピール</p>	<p data-bbox="1124 908 1347 1083">施設維持の為に費用の明確化</p> <p data-bbox="878 987 1100 1153">地元の作家の作品を持ち回りで展示する</p> <p data-bbox="878 1183 1132 1340">イベントごとの世代等の分析をしていく</p> <p data-bbox="878 1358 1140 1485">施設周りの整備、複合化</p>

【3班】テーマ①「スポーツ施設」



ほぼ肯定の意見だった。スポーツ大会など、学校施設と複合化すれば良いのではないかという意見があった。また、特色のある施設について広報で活動内容を周知するなど、情報化時代なので、情報を提供すれば利用する人が増えるのではないかという意見があった。他市の事例から参考となるものもあると思う。

改善点としては、スポーツ施設はその地区の人しか知らないという場合があるので、もっと広報して、周知を図るべきだと思う。その他としては、たくさんの施設が古くなっているのを改修すべきでないか、使用料については、どれぐらいが適正かが分からないという意見があった。

討議テーマ①	「スポーツ施設」の計画案をどう考えるか	
計画案（市の方針）についてどう考えるか	肯定	否定
<p data-bbox="163 1262 515 1349"><肯定の場合> さらに改善する点や感想</p> <p data-bbox="228 1458 450 1546"><否定の場合> 具体的な対案</p>	<p data-bbox="560 963 825 1174">民間力、地域力の利用 細部に渡り気がつくことがあった</p> <p data-bbox="560 1185 825 1447">特色ある施設でも 広報活動と市民に知らせる方法を考える（温水プール、スキー場）</p> <p data-bbox="560 1502 825 1808">スポーツ施設は地区以外の人たちから知られていない もっと周知を 広報活動（ネット、スマホ）</p>	<p data-bbox="848 963 1112 1181">複合化を考える方法（スポーツ以外の企画） 学校施設等</p> <p data-bbox="848 1203 1112 1323">複合施設にして人を集める</p> <p data-bbox="848 1345 1264 1509">スポーツ施設とスポーツ施設以外の機能をしているものを複合させて、利用者の幅を広げる</p> <p data-bbox="848 1585 1112 1760">沢山の地区にある施設はなくともよい（古い建物等々）</p> <p data-bbox="1135 974 1347 1225">各地域に有る施設を一ヶ所にして、複合的な物にした方がよい</p> <p data-bbox="1135 1541 1347 1760">使用料についてはどれぐらいが適正か良く分からない</p>

【3班】テーマ②「放課後児童クラブ」

肯定という意見である。理想としては学校内にあれば、親も生徒も安心するという意見だが、学校内に設置するとすれば、管轄が教育委員会（文科省）と厚労省で違うため、入り口を別しなければならないとか、廊下を仕切らなければならないという課題があるとのことなので、そこは解決しなければならないと思う。

また、障がい児への対応は、専門の先生が対応しなければならないと思う。また、各家庭の環境によって、子どもの性格も違い、喧嘩やいじめなどの問題もあるかもしれないので、そういう場合はクラスを分けたりできないかという意見があった。

討議テーマ②	「放課後児童クラブ」の計画案をどう考えるか	
計画案（市の方針） についてどう考えるか	肯定	否定
<p data-bbox="163 825 514 912"><肯定の場合> さらに改善する点や感想</p> <p data-bbox="228 1022 449 1109"><否定の場合> 具体的な対案</p>	<p data-bbox="560 781 777 904">理想は学校でやる</p> <p data-bbox="560 952 792 1116">学校内にあれば良い（安心感） （生徒・親）</p>	<p data-bbox="807 781 1038 963">教育委員会（文科省）と厚労省が連携</p> <p data-bbox="1079 781 1356 989">子供達の環境を良くする（個々に性格が違い、家庭環境も違う）</p> <p data-bbox="870 1013 1180 1181">障がい者に対しては、専門の先生による対応（民間施設に有る）</p>

【グループ討議結果（まとめ）】

公共施設再編計画中間案（市の方針）について、どう考えるかを話し合っていたところ、すべてのテーマ（3班×2テーマ）において「肯定」の結果でした。

テーマごとの御意見は次のとおりです。

◇ 放課後児童クラブ【討議結果：肯定】（1班、3班）

意見
利用料金は負担が少ない方がいい
出来るだけ校舎内へ配置
学校の施設を利用したい
現行のままが良い
延長して欲しい（時間）19:00～19:30
理想は学校でやる
学校内にあれば良い（安心感）（生徒・親）
教育委員会（文科省）と厚労省が連携
子供達的环境を良くする（個々に性格が違い、家庭環境も違う）
障がい者に対しては、専門の先生による対応（民間施設に有る）

◇ 障害福祉施設【討議結果：肯定】（1班）

意見
民間に移し、サービス向上
一般市民との交流の場を増やして欲しい
廃校になったところを改修して利用できないか

◇ 文化施設【討議結果：肯定】（2班）

意見
利用者数を増やす
利用者数の分析をより詳細に行う
効率的な広告方法の確立
何をするのかをアプリやインターネットでアピール
地元の作家の作品を持ち回りで展示する
イベントごとの世代等の分析をしていく
施設周りの整備、複合化
施設維持の為の費用の明確化

◇ スポーツ施設【討議結果：肯定】（2班、3班）

意見
利用率を上げる取組が必要
利用率、目標金額（収益）を具体的に決める
利用者を指導するインストラクターを育成する必要がある
市の方針をよりわかりやすく
市の方針が見えない 示して欲しい
市民の声を吸い上げる体制を作る
日頃の運動不足解消のきっかけづくりとなる運動教室を開く
施設利用時の駐車場の確保
民間力、地域力の利用 細部に渡り気がつくことがあった
特色ある施設でも広報活動と市民に知らせる方法を考える（温水プール、スキー場）
複合化を考える方法（スポーツ以外の企画）学校施設等
複合施設にして人を集める
スポーツ施設とスポーツ施設以外の機能をしているものを複合させて、利用者の幅を広げる
各地域に有る施設を一ヶ所にして、複合的な物にした方が良い
スポーツ施設は地区以外の人たちから知られていない
もっと周知を 広報活動（ネット、スマホ）
沢山の地区にある施設はなくともよい（古い建物等々）
使用料についてはどれくらいが適正か良く分からない

公共施設アドバイザー 川嶋幸夫 氏



皆さんからいただいた意見を整理すると、放課後児童クラブは、学校内に設置することが妥当という話があったと思う。教育委員会と調整しながら協議を進めているが、教育委員会（学校側）は空き教室がないと言っているの、市長から強く申し入れて実現してもらいたい。

障害福祉施設については、民間への譲渡が妥当という意見があった。民間の力を使って、より良いサービスを効率的に進めていくことも必要だと思う。また、意見にあったように市民の皆様との触れ合いの場を持つことも可能と思う。

スポーツ施設については、広報が十分ではないという御指摘があった。この件については、色々な意見交換の場でも、情報提供が少ない、あるいは貸し出しのやり方がスムーズではないという御指摘をいただいている。これは行政として早急に整理していかなくてはならない課題だと思う。

また、建物のハードの面ではなく、利用率を高めていくためには中身づくりが重要という厳しい御指摘があったと思う。現在は市の直営の施設が多いが、職員は中身よりも、施設を維持するほうに少し力を注がなくてはならない状況にある。中身をもっと良くするため、講座や教室を開き、その講座や教室への参加によって利用率が上がるという仕組みがあるので、職員ができない、余裕がないのであれば、民間の力を使うことが有効だと思う。多くの自治体では、市民体育館の民間の指定管理者制度の導入がかなり進んでいる。市は、そういったことをしっかり検討していく必要があると思う。

使用料について、適正範囲が分からないという意見があったが、行政の役割は市民の皆様に活動の場を提供すること、色々な機会を提供することが原則であるため、施設をつくること（イニシャルコスト）は市が公費で負担していくべきである。施設の利用者が消費する電気や維持関係のランニングコストについては、利用者に一定の負担をしていただくという原理原則をルールとして、それぞれの施設にどれくらいお金がかかっているのか、そのお金を1人当たり、1㎡あたりに換算したときに、どのくらいの金額になるのかをしっかりと示したうえで、妥当な金額について理解してもらう必要がある。市町村合併の経緯もあると思うが、現在の使用料はしっかりとした算定根拠が示されていないため、行政の役割、利用者の役割を明確化しなければならない。例えば、健康づくりは行政の大きな役割なので、そういう面では100%利用者に転嫁するというのではなく、公費で一定の負担をするという相

互負担のルールを作ったうえで、受益者負担が適正かを示さなければならないと思う。

文化会館についても同様で、市民の皆さまに活動の場を提供すること、あるいは質の高い演劇等のイベントを提供することについては、一定の公費の役割がある。それぞれの役割を整理したうえで、使用料を示していくことが必要と思う。

また、湯沢文化会館について、せっかくの大きな施設が宝の持ち腐れにならないよう、中身をもっと良くしなければならないという御意見があった。このことについては、民間の力を活用することも一つの手法ではないかと思う。

今回の御意見は、計画の中にしっかり盛り込まれている。これから一つひとつの課題をつぶして、絵に描いた餅にならない計画にしたいと思っている。また、機会があれば御指摘していただきたい。

●あいさつ（総務部長）



●事務連絡

●閉会

公共施設再編計画（中間案）全体に対する意見

公共施設再編計画（中間案）について、計画全体や、討議で選択したテーマ以外への御意見をアンケート形式で伺いました。

施設分類	意見
全体	<p>継続していく施設については、できるだけ民間の運営の力を借りられないか。そして利用者も巻き込んで整備・修理の協力等もしていけるのではないか。官民一体となって継続していくのが理想だ。</p> <p>施設料金の全体的見直しが必要。</p> <p>施設が減ることで生活の潤いの場が少なくならないよう工夫してほしい。</p> <p>利用状況の案内は広報なども活用し、インターネットを使えない人にも配慮するなどの工夫を。</p> <p>施設でできることを市民にアピールして、その場所をできるだけ有効活用してもらえようようにしてほしい。</p> <p>コスト面を考えれば、できるだけコンパクトな施設にして色々なことが一箇所で、また広域的に利用ができるようになれば良いと思う。車社会なので20～30分かかって趣味や運動に時間を割くことは厭わないと思う。</p> <p>高齢化社会、人口減、生産人口減なので、若い人たちが安心できる社会に、未来を考える会をお願いしたい。豊かな町、若い人たちが安心して定住できる、元気のある湯沢市であってほしい。生活しやすいまちづくりをお願いしたい。</p>
文化施設	<p>湯沢文化会館以外の3施設の利用率が低く、使っていない日も多い気がした。催し物は一つの場所に集約できれば利用率のアップにつながると思う。</p>
スポーツ施設	<p>各施設とも収入より支出が多く全て赤字経営なので、各地域に1施設ほどにまとめるのが良いのではと思うが、これからの子どもたちのスポーツに対する施設、考え方も聞き入れていかなければと思う。</p>
学校	<p>学校再編計画（素案）では少子化に伴い、生徒児童数の増減を基準として統合計画が進められているように思うが、統合することの教育的メリットが打ち出されていないように思う。また、統合しなければならぬ一番のデメリットは何なのか明確にしてほしい。</p> <p>稲川と皆瀬地域の統合計画があるようだが、通学区域の再編も考え、せめて小学校だけでも2校は存続してもらいたい。</p>
放課後児童クラブ、高齢福祉施設	<p>高齢者社会において、子どもと高齢者が交流を持つことは大事だと思う。2つの機能を合体させたら子どもにとっても高齢者にとっても良いと思う。</p>
放課後児童クラブ	<p>子どもたちを預かる時間が短すぎる気がした。もう少し遅い時間まで預かってもらえれば収入を増やすことができ、生活費も安定できるような働き方もできると思う。</p>
障害福祉施設	<p>今後一番使用されると思われるので充実した施設にしていく必要がある。</p>

令和元年 10月発行



令和元年度
公共施設の未来を考える「市民討議会」
開催報告書

〒012-8501 秋田県湯沢市佐竹町1-1
湯沢市 総務部 企画課 企画政策班